

卒業生の現在^{いま}

—それぞれの道で—

今年三月に卒業した七十六名。それぞれ何に取り組み、どのように過ごしているのでしょうか。進学・就職した三人に、高校時代や現在（いま）を語ってもらいました。

木村有里さん（国見中出身）
宮崎大学医学部看護学科進学

私は今、第一志望であった宮崎大学で新しい生活を始めています。大学は高校時代に経験したことのないユニークな講義や様々なサークルがあり、新しい環境への不安よりも期待の方が大きいです。

中学校前にあった「地元の高校へ行く」という看板、これが私が高山高校へ行くことと思っただけでした。

高校三年間を振り返ると、本当に高山高校へ入学して良かったと思っています。私は一、二年生の時に何度も検定に挑戦しました。級が上がることに難解になっていく問題にくじけそうになったこともありましたが、先生方が勉強法のアドバイスや生徒ひとりひとりに合った課題を準備してくださり、それが私達にとって励みとなって頑張ることができました。

進路指導の際、先生から国立大を勧められ「実現できるかわからないけど目標に向けてやってみよう」と決心したのも、一、二年生で得た自信が基盤としてあったからでした。その後順調に進んだ訳でなく、どんなにやっても結果が出ない時期を経験しました。

そのような時に落ち着いて自分の周りや過去を振り返り、反省点やこれから先どうしていくべきなのか考える時間も重要だということ学びました。

高校三年間は本当に多くの先生方や友人に支えてもらいました。将来、看護の世界で働きたいと思っています。これまで支えてもらった分、自分も何か人の力になれるよう頑張っています。

松崎優くん（高山中出身）
鹿児島第二医療リハビリ専門学校
作業療法学科進学

私が高校生の時に頑張っていたことは、積極的にボランティアに参加していたことです。時々、時間が合わずに参加できないこともありましたが、できるだけ参加するようにしていました。

現在は、勉強やレポートなどで大変ですが、新しい生活にも慣れ、とても楽しい学校生活を送っています。一、二、三年生になれば実習もあるのでとても楽しみです。一人暮らしも最初のうちは大変でしたが、今はあまり困ることなく生活できています。

将来は、今学校で習っていることを生かして少しでも多くの助けになることができればいいなと思っています。

瀧間明葉さん（串良中出身）
有限会社はとや勤務

私は志布志市にある「SUMOMO」というお菓子屋さんでケーキ製造の見習いとして働いています。現在、品出しやシュークリームのカスタード練り、プリンなどの仕込みを任されています。

就職する前は、自分の好きなことができ、自由に過ごせると思っていました。でも実際に働いてみると全く違って、好きなことだけすればよいというのではなく苦手なことにも取り組まなくてはなりません。

私は、時々高校生に戻ってもっと学びたいと思うことがあります。例えば高校生の頃は、言葉遣いを気にすることはありませんでした。今は接客も行うので言葉遣いに変気をつかいます。忙しい毎日ですが、いろいろな経験をさせてくださっているのが大変充実しています。

この道は自分で選んだ道ですし、私のために親身になって協力してくださった先生方の期待に応えられるよう頑張ります。先生方には本当に感謝しています。ありがとうございます。

